

# こころとカラダのライフデザイン共創拠点 (COI-NEXT)

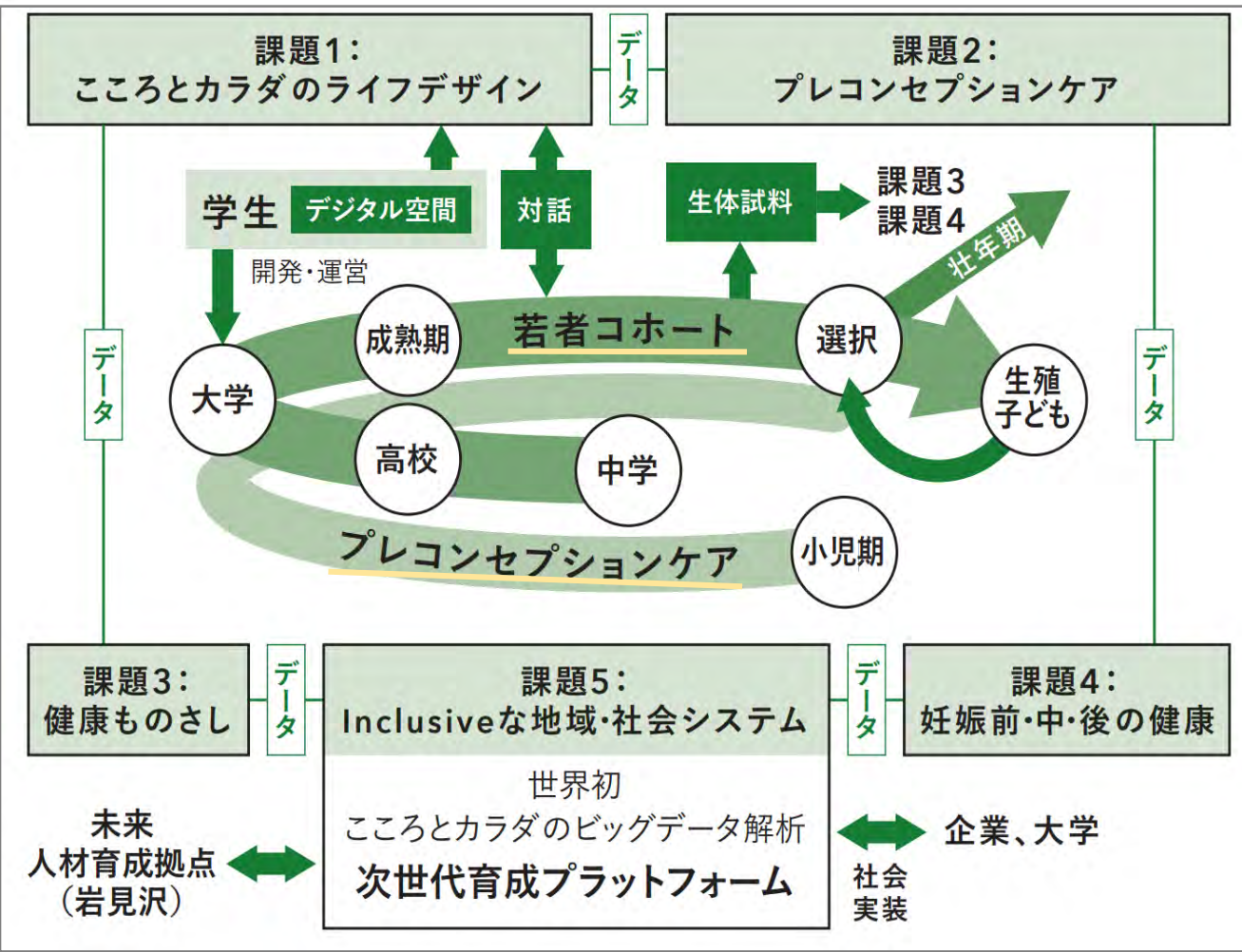


岩見沢市  
IWAMIZAWA CITY

## 少子化克服に向けた研究開発を開始



自治体、大学、小中学校、企業、市民で  
若者が自分らしく生きられるしくみを若者とともにつくっていく



### 若者コホート

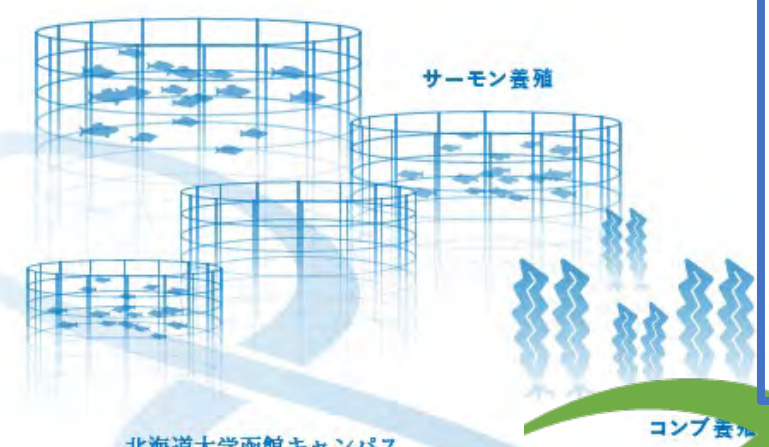
中高生・大学生・若者を対象としたこころとカラダの変化を追うコホート研究 (場所と環境が変化しても継続したデータ取得が必要)

### プレコンセプションケア

妊娠前からのヘルスケアのこと、小児期から成人期まで成長段階にあわせて、こころとカラダの健康、家族、ウェルビーイング、尊厳を学ぶ (日本の文化、慣習へ適応が必要)

3D実物大モデルを用いたプレコンセプションケアを高校等で実施

# 魚介藻類養殖を核とした持続可能な水産・海洋都市の構築 (地方大学・地域産業創生交付金)



**研究開発**

日本初のキングサーモン完全養殖とマコブの完全養殖

↓

魚類養殖のCO2排出を海藻養殖・天然海藻で吸収して養殖業の地域カーボンニュートラル達成

↓

天然資源に頼る漁業から低環境負荷型で高収益な養殖産業へ

- 教育機関
- 地域
- 企業等

研究開発と教育に参画



人を育てる  
仕事を創る

楽しい街  
住みたい街  
活力ある街  
魅力のある街  
街を育てる

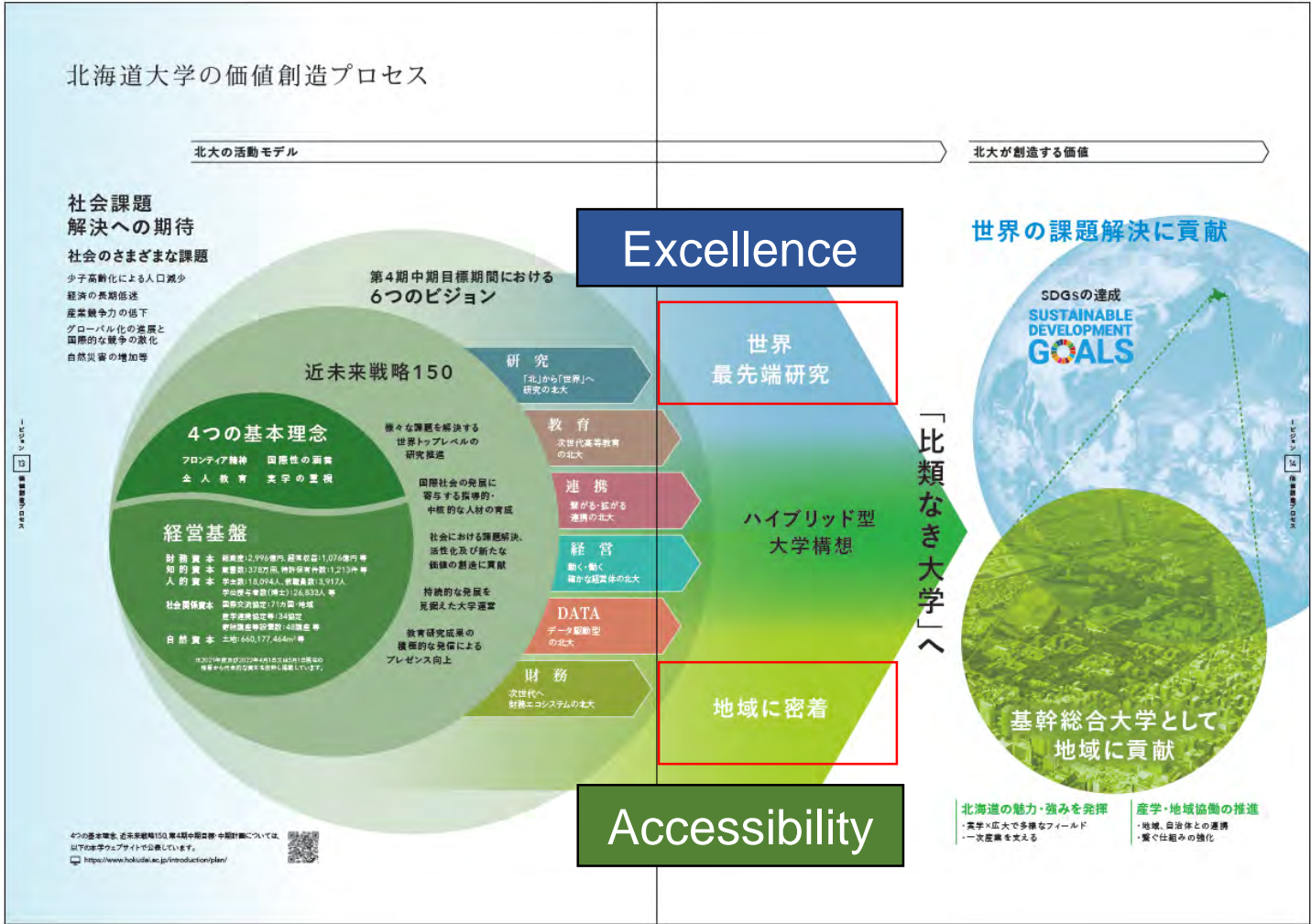
**大学改革・人材育成**

新たな教育プログラムにより函館地域に貢献する人材を育成

北海道大学水産学部、公立はこだて未来大学、函館大学、函館工業高等専門学校

～北海道大学は地域密着の基幹総合大学へ～

# 統合報告書2022



**Excellence 世界最先端研究**  
**Accessibility 地域課題解決**



どのように融合して、  
シナジー効果をもたらすか？





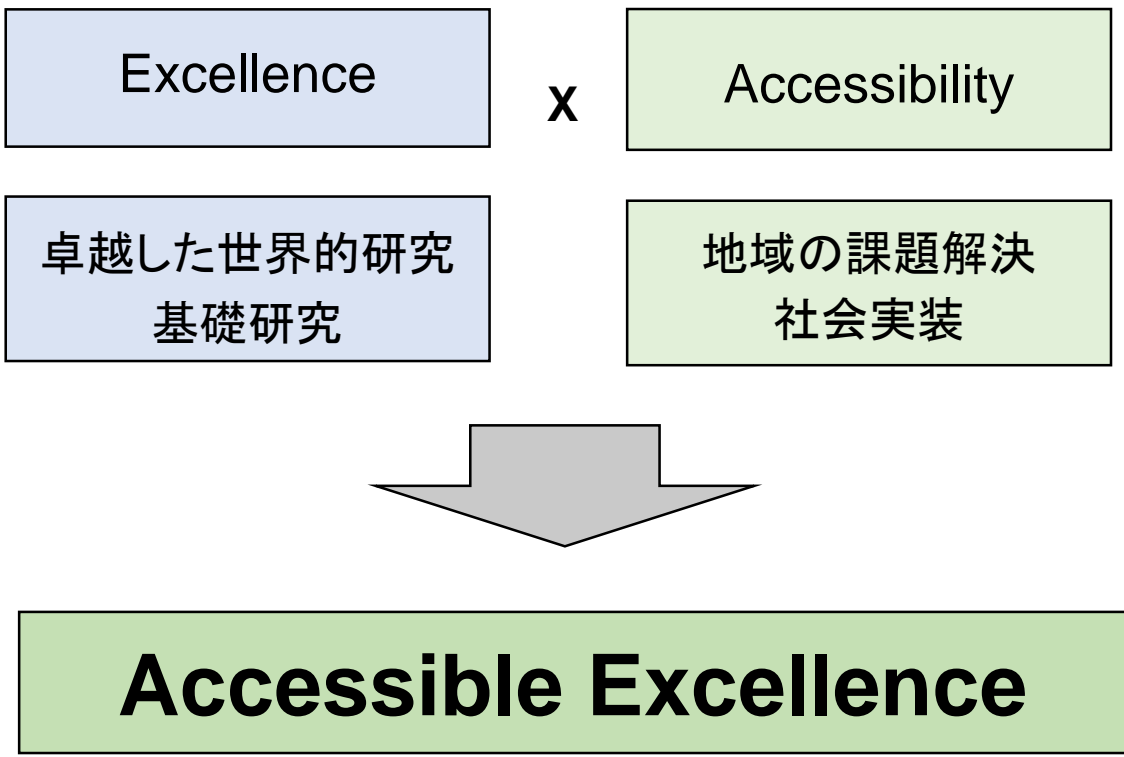
## 社会と歩む卓越～北海道大学

---

1, 新ビジョン(何故、必要か、どんなビジョンであるべきか?)

2, ビジョン実現に向けた戦略的経営は?

# HU VISION 2030

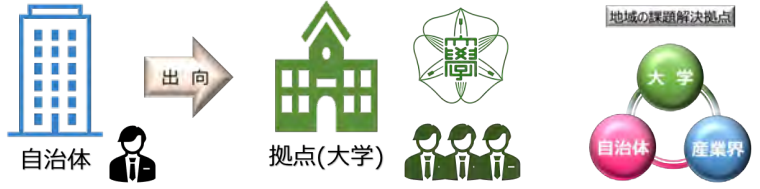


## 社会と歩む卓越

# 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業による取組

## ●LRA(Local Research Administrator)制度の創設

自治体職員が課題解決拠点（大学）へ出向し、拠点の産学連携業務の理解と、人的ネットワークを構築して専門の知見を獲得する、地域課題専門の人材育成制度



北海道 相互人事交流各1名  
 札幌市 派遣1名、相互人事交流各1名 (R5.4調整中)  
 岩見沢市 派遣1名  
 ※ その他複数の自治体と調整中



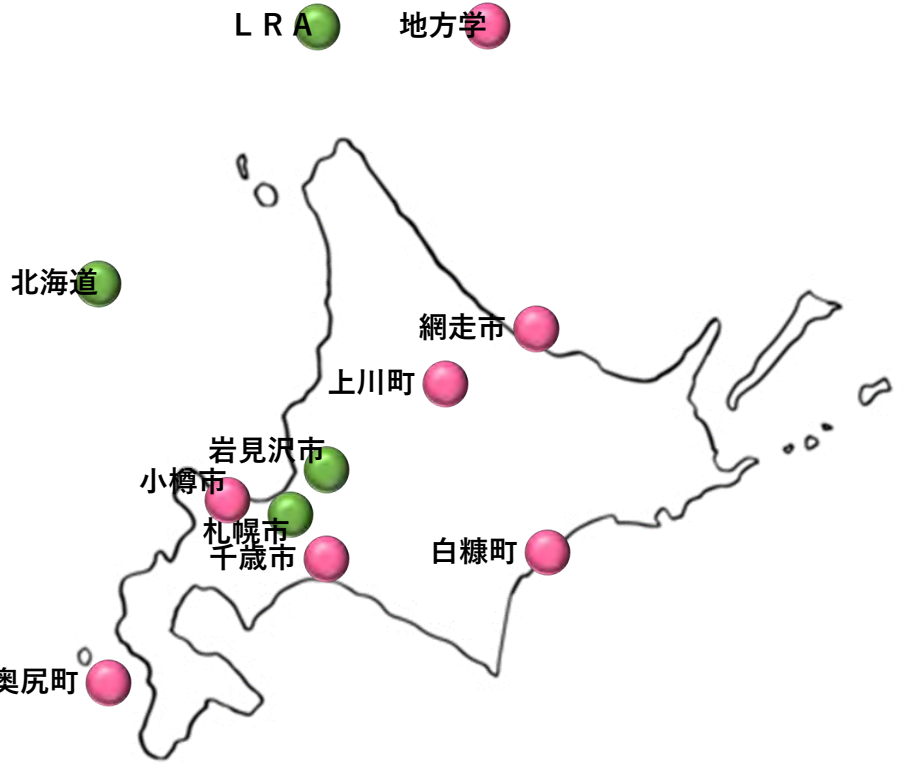
## ●地方学（ぢかたがく）の実践支援プログラムの展開

学生が大学での学びを自らのアイデアにより発展的に展開する調査・研究を軸として北海道の地域社会や団体と連携しながら、フィールドにおいて課題解決を主体的に取り組む大学院生を支援するプログラム



## ●北海道大学オープンイノベーションサロン（仮称）の設置

学内施設を改修し、産学官金の連携強化や情報発信空間、スタートアップ支援のための、自治体職員や企業人と本学教職員・学生が交流する「場」を設け、オープンイノベーションを創出



# 戦略的経営



## 総長のトップ・ビジョンの策定・共有・実現

- **新ビジョンの明確な提示 (Accessibility・Excellence)**  
総長と構成員の直接対話によるビジョンの作成と提示
- **ビジョン実現のための具体的政策と新組織設置**
  - ・未来戦略本部
  - ・事務組織の改組と社会・地域創発本部創設
  - ・URA組織の拡充
  - ・データ駆動型融合研究創発拠点 (D-RED)



## 官学連携を目的とした自治体等との交流

- **自治体との関係強化**
  - ・包括連携協定、人事交流
  - ・知事・市長・首長との組織的意見交換
- **Local Research Administrator (LRA) 制度の導入**  
北海道大学と自治体とが共同で地域課題解決に導くための中核となる人材の育成・認定
- **HSFC (エイチフォーエス)**  
道内15大学、4高専等からなるスタートアップ創出のためのプラットフォーム



## Shared Governanceの実現 (産学連携・ファンドレイジング・財務改革)

- **総長業務の重点シフト**  
令和4年4月～10月の総長の社会連携業務は7割程度  
組織改革→外部資金獲得・ファンドレイジングへ注力
- **外部ステークホルダーとの共創関係強化**
  - 経営協議会の改革・ステークホルダー懇話会の設置  
→ 外部委員、外部有識者の意見聴取の拡大
  - Public Relation 機能の拡大  
→ ブランディング活動強化





# 戦略的財務計画

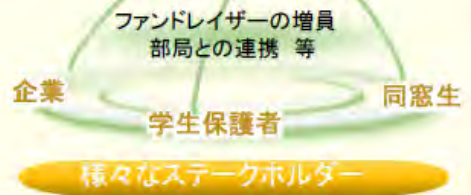
## 経営的收入を含めた自己収入の増加

### 戦略的な寄附募集活動の展開

創基150年に向けた北大フロンティア基金の募金活動

目標額: 令和9年度末累計 75億円

様々なステークホルダーに応じた  
寄附募集活動



## 資源の必要な選択と集中

### 戦略的・重点的な資源配分制度

目標: 総長のリーダーシップによる戦略的・重点的な資源配分制度の構築

- ✓ 客観・共通指標の  
評価対象経費の拡大
- ✓ 社会的インパクト評価の導入

限られた資源を総長の下に集中化、  
戦略的かつ機動的な配分が必要

## 財源の多元化

### 組織的な連携による大型 共同研究の推進

ビジョンを共有する組織対組織型の大型共同  
研究を中心に外部資金の獲得額を増加させる

目標額: 令和9年度における民間企業等からの共同研究  
受入額 32億円 (令和3年度実績: 23.9億円)



VISION



## 資源配分の最適化

### 保有知的資産の活用による 増収策

ライセンス収入を増加させる仕組みの発展、有  
償提供や商品化による活用などの取組推進

#### ライセンス収入増

- ✓ベンチャー企業や海外企業への  
ライセンス活動強化
- ✓保有特許のグルーピングやパテント  
マップ活用による特許の質向上

#### 価値化の推進



目標額:  
令和9年度知的財産権等収入額 2.7億円 (うち商標権収入額3,000万円)  
(令和3年度知的財産権等収入額 1.8億円: うち商標権収入額 1,300万円)

## 安定的・自立的・持続的な大学運営の財務基盤の次世代への継承



# Accessibility評価(案)

Accessibilityに関する取り組みの成果に対する適正な評価・KPIがなければ  
総合振興パッケージも地域の大学も発展しない

## 研究指数

- 1) 地域創生関係(COI、地方大学・地域産業創生交付金等)予算の獲得額
- 2) 地域大学との共同研究比率

## 社会連携指数

- 3) スタートアップ数
- 4) 地域自治体、企業との人事交流(人数、期間)

## 教育指数

- 5) リカレント教育参加者数
- 6) 地域就職の定量評価
- 7) 地域大学との連携事業数・規模

# 世界の地域連携の例

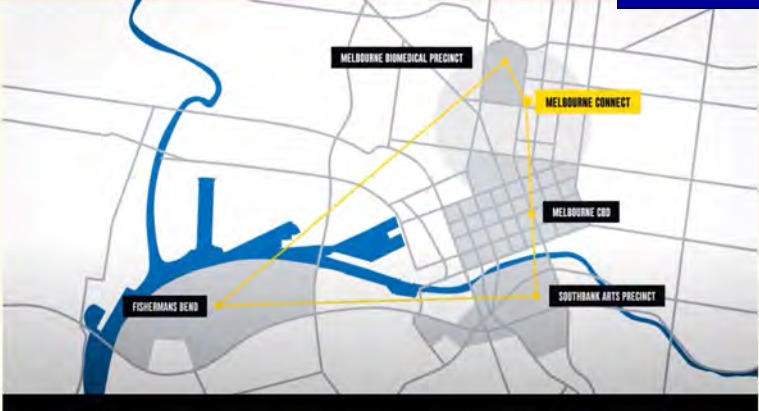
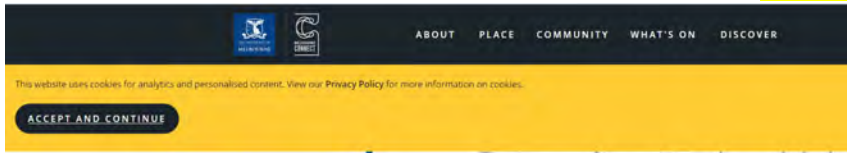
## シリコンバレー



## 始興市のスマートシティ



## Melbourne Connect



# 欧米における地域課題への大学の関与(例)

- 欧米の大学では、世界最先端研究と地域産業振興や社会課題解決への貢献の両立は、**当然のものとして実施**されている
- 欧米では、**国や州などの科学イノベーション政策や産業政策に大学や研究機関が密接にかかわり実施**される事業が多い。そのため参画機関も多く、それぞれに役割分担がなされている印象がある
- 強みや地域の特色を長期的ビジョンのもとに生かす取り組みについて、**ビジョンが明確化**されている

## 米国 Engineering Research Center

### ● ERC for the Internet of Things for Precision Agriculture (IOT4AG) ERC for the Internet of Things for Precision Agriculture | ERC Association (erc-assoc.org)

- 主幹校: ペンシルバニア大学 (THEWUR2022=13位, QSWUR2023=13位, THEImpact2022=no entry)  
パートナー: Purdue大学(105/102/-)、フロリダ大学(154/188/-)、カリフォルニア大学Merced校 (301-350/-/-)
- ビジョン : 持続可能な高生産性優先農法/Sustainable, High-Output Precision Agriculture
- ミッション : 農業の未来のトランスフォーメーション/Transform the Future of Agriculture
- ニーズ : 食料、エネルギー、水の安全保障/Food, Energy, and Water Security
- ソリューション : IoT 技術により、気候の兆候を把握し、農業への影響を空間的、時間的、組成的にマッピングし、早期発見と水不足を防止する新規の統合システムの構築を目指す
- Convergence Research: 農学、農業工学、経済学、環境科学、物理的およびサイバーフィジカルシステム関連の科学技術



## 独国 産業クラスター政策

### ●各州レベル

- 州の強みを生かした助成
- 産官学連携だが、ボトムアップ官は運営には関与しない
- 連邦レベルのクラスターやEU地域開発政策とのリンクを意識
- ドイツの主要大学は州立の総合大学  
= 州内産業への貢献が求められている
- 大学 (Universität/Hochschule) だけでなく、  
= 多数の研究機関も参加

大学も地域産業振興に  
組み込まれているイメージ



図1 バイエルン州のクラスター政策  
出典: 国産貿易振興研究所「平成27年度地域経済の発展に貢献するドイツのクラスター報告書(2016.3)」



Cluster-Politik - der aktuelle Stand  
des Bundes Wettbewerbsstaats  
https://www.bmbwf.de/bmbwf/der-forschung-zukunftstrategie/zu-kunftscluster-initiative-cluster-entwicklung/zu-kunftscluster-initiative-clusters-future\_node.html